

放課後等デイサービス評価表（従業者向け）

ハッピーテラスおおいた第2教室

○本評価表は放課後等デイサービスに従事する方に、事業所の自己評価をしていただくものです。

「はい」=○「いいえ」=×を記入するとともに、従業者の視点で「工夫していると思う点」「改善が必要と思われる点」について記入してください。

	チェック項目	○	×	工夫していると思う点・改善が必要と思われる点
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	6	0	基準人員より多く配置している。 視覚的配慮も加え、情報伝達の明示を行っている。 個別の部屋は設けていないが、空いたスペースを活用して環境づくりに努めている。
	2 利用定員やこどもの状態等に対して、 職員の配置数は適切であるか。	6	0	
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	6	0	
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	6	0	
	5 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	6	0	
業務改善	6 業務改善を進めるための PDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	6	0	定期的なスキルアップ研修を設けたり、専門的スキル獲得を目指した勉強会等も設けている。
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6	0	
	8 職員の意見を把握する機会を設け、その内容を業務改善につなげているか。	6	0	
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	6	0	
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内などで研修を開催する機会が確保されているか。	6	0	
適切な支援の提供	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	6	0	保護者面談の際に、本児に必要な支援項目を共有し、具体的な内容を設定している。 週間テーマに基づき、固定化しない工夫をしている。 学校の中で集団生活を行っている観点から、個別活動は実施していないが、必要に応じ取り組んでいく。 システムを活用し、その日に確認できなかった職員に対しても振り返りできるよう記録を行っている。
	12 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、個別支援計画を作成しているか。	6	0	
	13 個別支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解のもとで、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	6	0	
	14 個別支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	6	0	
	15 こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	6	0	
	16 個別支援計画には、ガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	6	0	
	17 活動プログラムの立案をチームで行っているか。	6	0	
	18 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	6	0	
	19 こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ、個別支援計画を作成し、支援が行われているか。	6	0	
	20 支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や、役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	6	0	
	21 支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	6	0	
	22 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	6	0	
	23 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	6	0	
	24 放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ、支援を行っているか。	6	0	
	25 こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	6	0	

関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	6	0	学校との連携を図り、情報共有を行っている。 同一法人の事業所を利用していた児童に関しては情報共有を行っている。 相談支援員を通じて、移行する事業所等へ情報提供している。 行政が実施する研修会・講演会等に参加している。 積極的に他児との交流は機会を設けていない。 必要となる保護者のニーズに合わせて検討していく。
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	6	0	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	6	0	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	2	4	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	6	0	
	31	地域の児童発達支援センターと連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	1	5	
	32	児童クラブや児童館との交流や、地域のこどもと活動する機会があるか。	1	5	
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	1	5	
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	6	0	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、ペアレント・トレーニング等や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	1	5	
保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担について丁寧な説明を行っているか。	6	0	送迎時等にお悩みや相談に対応している。 保護者同士の交流の機会は実施できていないため、講演会等を用いて開催していく。 地域住民の積極的な招待は実施していない。
	37	個別支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	6	0	
	38	「個別支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から個別支援計画の同意を得ているか。	6	0	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	6	0	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	1	5	
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	6	0	
	42	定期的に通信等を発行することや、HP や SNS 等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	6	0	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	6	0	
	44	障害のあるこどもや、保護者との意思疎通や情報伝達の配慮をしているか。	6	0	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、開かれた運営を図っているか。	1	5	
非常時等の対応	46	事故防止、緊急時対応、防犯、感染症対応のマニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	6	0	アセスメント時に保護者から確認している。 定期的に開催している。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	6	0	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	6	0	
	49	食物アレルギーについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	2	4	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分されたなかで支援が行われているか。	6	0	
	51	こどもの安全確保に関して、家族との連携が図られるよう安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	6	0	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について、検討をしているか。	6	0	
	53	虐待防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	6	0	
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、個別支援計画に記載しているか。	6	0	